

ISO9001 認証の返納について

2021年7月8日

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当発電所は、国際標準化機構による品質マネジメントシステムに関する規格「ISO9001^{※1}」の認証を2006年に取得し、その後も更新を継続しておりました。このたび、核物質防護設備の機能一部喪失による原子力規制委員会からの評価結果「安全重要度評価^{※2}:赤」を受け、本日、当認証を返納いたしましたのでお知らせいたします。

「ISO9001」の認証では、規程・マニュアル類がISOの規格要求事項を満たしていることや、業務が規程・マニュアル類に則って適切に実施されていること等を、審査登録機関に毎年確認いただくとともに、3年ごとの更新審査をいただいております。

一方で、本年4月に原子力規制委員会からの評価結果を受けた後、認証を継続するには、核物質防護設備の機能に関する是正措置の確認を行う追加の審査が速やかに必要との連絡を審査登録機関からいただきました。

核物質防護設備の機能に関する是正措置については、現在、原子力規制委員会への報告に向け、根本的な原因究明と、その改善措置活動に対する検討をしている状況であり、審査登録機関からの追加審査が困難な状況にあります。そのような中、審査登録機関から「認証を再取得する意向であれば、一旦、認証を返納したうえで、審査条件の協議を継続してはどうか」との提案を受け、このたび、認証を返納する判断に至ったものです。

今後、当発電所といたしましては、引き続き、品質マネジメントシステムに基づく品質保証活動を継続し、審査登録機関と審査条件が整い次第、「ISO9001」の再取得を目指してまいります。

当社は、「福島第一原子力発電所事故の反省と教訓」という原点に今一度立ち返り、発電所を生まれ変わらせるべく、発電所の安全性や業務品質の向上に向け、取り組んでまいります。

以上

※1 国際標準化機構（International Organization for Standardization）が品質保証システムの要求事項を規定した国際規格。同機構は、国際的に通用する規格や標準などを制定するための国際機関として1947年に設立され、本部はスイスのジュネーブにある。

※2 安全上の重要度は、原子力施設の安全確保に対する劣化程度に応じて「赤」「黄」「白」「緑」に区分される。各区分の定義は以下の通り。
赤：安全確保の機能又は性能への影響が大きい水準
黄：安全確保の機能または性能への影響があり、安全裕度の低下が大きい水準
白：安全確保の機能または性能への影響があり、安全裕度の低下は小さいものの、規制関与の下で改善を図るべき水準
緑：安全確保の機能または性能への影響があるが、限定的かつ極めて小さなものであり、事業者の改善措置活動により改善が見込める水準